

平成 16 年度中間決算について

平成 16 年 11 月 11 日
電源開発株式会社

・平成 16 年度中間決算の概要

連結決算

(1) 経営成績

	売上高		経常利益		中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
16年9月中間期	291,892	(5.4)	45,748	(48.3)	29,604	(53.2)	213.27
15年9月中間期	276,908	(3.4)	30,858	(31.8)	19,328	(31.2)	273.78
16年3月期	569,854		44,446		27,623		304.88

(注) パーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年9月中間期	2,049,225	383,156	18.7	2,760.34
15年9月中間期	2,116,233	186,678	8.8	2,644.18
16年3月期	2,076,107	359,645	17.3	2,590.00

個別決算

(1) 経営成績

	売上高		経常利益		中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
16年9月中間期	276,709	(5.2)	42,610	(54.9)	28,233	(60.8)	203.40
15年9月中間期	262,917	(3.8)	27,505	(37.0)	17,559	(36.9)	248.72
16年3月期	522,595		33,522		21,718		240.25

(注) パーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年9月中間期	1,969,920	365,801	18.6	2,635.31
15年9月中間期	2,047,073	168,852	8.3	2,391.68
16年3月期	2,004,703	338,336	16.9	2,437.04

・当中間期の経営成績及び財政状態

1．経営成績

(1) 収益

収益面では、電気事業において、当社単独の販売電力料収入は、水力は前年同期並でありましたが、火力は16年4月の定期料金改定による減少があったものの、計画に対して大幅な高稼働となったことにより増加しました。また、連結子会社のグループ外売上の増加もあり、連結の売上高(営業収益)は前年同期に対し5.4%増加の2,919億円、経常収益は同5.4%増加の2,940億円となりました。当社単独の売上高(営業収益)は2,767億円、経常収益は2,789億円となりました。

(2) 費用

費用面では、電気事業において、人件費、減価償却費の減少はありましたが、火力発電所の高稼働による燃料費の増加、連結子会社の営業費用増加等により、連結の営業費用は、前年同期に対し10.4%増加の2,214億円となりました。これに営業外費用を加えた連結の経常費用は前年同期並の2,482億円となりました。当社単独の営業費用は2,107億円、経常費用は2,363億円となりました。

(3) 利益

以上の結果、連結の経常利益は前年同期に対し48.3%増加の457億円、中間純利益は、豊水による湯水準備金の引当等を行なった結果、同53.2%増加の296億円となり、当社単独の経常利益は426億円、中間純利益は282億円となっております。

2．財政状態

(1) 資産の部

資産については、固定資産は当中間期より新規に連結した市原パワー(株)他による増加がありましたが、減価償却進行による減少により、前期末から327億円減少し1兆9,124億円となりました。これに流動資産を加えた総資産は前期末から269億円減少し2兆492億円となりました。

(2) 負債の部

負債については、借入金・社債の返済等により、前期末から511億円減少し当中間期末の負債総額は1兆6,649億円となりました。連結有利子負債残高についても、前期末から516億円減少し、当中間期末は1兆5,413億円となりました。連結有利子負債比率は前期末の81.6%から80.1%へと改善を見ております。

(3) 資本の部

また、資本合計は、前期末から235億円増加し、3,832億円となり、株主資本比率が前期末の17.3%から18.7%と上昇しております。

連結株主資本比率は平成18年度末に20%以上という経営目標の達成に向けて、引き続き努力していきたいと考えております。

平成17年3月期 中間連結決算収支比較表

(単位：百万円)

項 目	当中間連結 〔自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日〕 (A)	前中間連結 〔自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日〕 (B)	対前年同期比		
			増減(A-B)	(A/B)%	
経 常 収 益	営業収益	291,892	276,908	14,984	105.4
	電気事業営業収益	276,817	264,761	12,056	104.6
	他社販売電力料	245,184	231,725	13,458	105.8
	(水力)	72,772	72,073	698	101.0
	(火力)	171,879	159,651	12,227	107.7
	(その他)	531	-	531	-
	託送収益	30,586	31,697	1,111	96.5
	その他	1,047	1,337	290	78.3
	その他事業営業収益	15,074	12,146	2,927	124.1
	営業外収益	2,076	2,065	10	100.5
	受取配当金	808	670	138	120.6
	受取利息	391	326	64	119.9
	持分法による投資利益	87	371	283	23.5
	その他	788	697	90	113.0
	計	293,968	278,974	14,994	105.4
経 常 費 用	営業費用	221,374	200,482	20,892	110.4
	電気事業営業費用	202,940	184,634	18,305	109.9
	人件費	18,597	21,984	3,387	84.6
	燃料費	54,396	41,396	12,999	131.4
	修繕費	19,116	12,497	6,618	153.0
	委託費	15,621	11,864	3,757	131.7
	租税公課	12,521	12,006	514	104.3
	減価償却費	60,247	63,628	3,381	94.7
	その他	22,438	21,255	1,182	105.6
	その他事業営業費用	18,434	15,848	2,586	116.3
	営業外費用	26,846	47,633	20,787	56.4
	支払利息	24,290	46,228	21,937	52.5
その他の営業外費用	2,555	1,404	1,150	181.9	
計	248,220	248,115	104	100.0	
中間経常利益	45,748	30,858	14,889	148.3	
湯水準備金引当又は取崩し	528	517	11	102.1	
税金等調整前中間純利益	45,219	30,340	14,878	149.0	
法人税、住民税及び事業税	17,429	11,487	5,942	151.7	
法人税等調整額	1,807	602	1,205	-	
少数株主利益又は少数株主損失	7	126	133	-	
中間純利益	29,604	19,328	10,275	153.2	

(注)百万円未満を切捨てて表示しています。

・平成 16 年度業績予想

販売電力量は、水力については中間期が豊水となりましたが、通期では前期に対して5.5%減少の103億 kWh になるものと見込んでおります。火力については、中間期に引き続き計画以上の利用率となることが見込まれますが、通期では前期に対して2.9%減少の465億 kWh になるものと見込んでおります。

売上高については、16年4月の海外炭火力の定期料金改定による減少があるものの、燃料価格の上昇等により、連結では前期に対して1.4%増加の5,780億円程度、当社単独では前期に対して2.6%増加の5,360億円程度になるものと見込んでおります。

経常利益については、上記料金改定の影響があるものの、償却進行に伴う減価償却費の減少及び支払利息の大幅な減少等による費用減少が見込まれており、連結では前期に対して23.7%増加の550億円程度、当社単独では前期に対して43.2%増加の480億円程度となる見通しです。

<連 結>

売 上 高	5,780 億円
経 常 利 益	550 億円
当期純利益	350 億円

<単 独>

売 上 高	5,360 億円
経 常 利 益	480 億円
当期純利益	310 億円